

道東地域の金融経済概況

【全体感】

道東地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

すなわち、公共投資は、持ち直している。設備投資は、高水準で推移しているものの、弱めの動きがみられる。住宅投資は、減少している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。生産は、下げ止まっている。労働需給は、引き締まった状態が続いているが、幾分緩和の動きがみられる。

先行きについては、企業の賃金・価格設定行動や人手不足が管内の経済活動全般に及ぼす影響を注視していく。

【前回からの変化】

項目	前回変化	基調判断	
		前回	今回
全体判断	→	道東地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。	道東地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。
公共投資	→	持ち直している。	持ち直している。
設備投資	→	高水準で推移しているものの、弱めの動きがみられる。	高水準で推移しているものの、弱めの動きがみられる。
住宅投資	↘	弱めの動きとなっている。	減少している。
個人消費	→	一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。	一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。
生産	→	下げ止まっている。	下げ止まっている。
雇用	→	引き締まった状態が続いているが、幾分緩和の動きがみられる。	引き締まった状態が続いているが、幾分緩和の動きがみられる。

※ 前回変化「↑」、「↘」は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いが変化したことを示す（例えば、改善度合いの強まりまたは悪化度合いの弱まりは「↑」）。なお、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は「→」となる。

1. 需要項目別動向

公共投資は、持ち直している。
公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、高水準で推移しているものの、弱めの動きがみられる。
道東地域の12月短観における2024年度設備投資計画は、前年を下回っている。

住宅投資は、減少している。
新設住宅着工戸数は、持家、分譲が前年を上回り、貸家が前年を下回った。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。
主要小売店売上高は、前年を上回った。乗用車新車登録台数（含む軽）は、軽乗用車は前年を下回ったものの、普通・小型乗用車は前年を上回り、全体としては前年を上回った。
家電販売は、弱めの動きとなっている。
観光は、持ち直している。

2. 生産

生産は、下げ止まっている。
主要生産品目別にみると、乳製品は、緩やかに持ち直している。水産加工品は、弱めの動きとなっている。

3. 雇用

労働需給は、引き締まった状態が続いているが、幾分緩和の動きがみられる。

4. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

5. 金融情勢

預金残高は、前年を上回った。

貸出残高は、前年を上回った。

貸出約定平均金利は、上昇した。

以 上

(注) 道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の3市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。